

2025 年 11 月 4 日

一般社団法人日本音楽療法学会
学術・研究委員会

第 2 回日本音楽療法学会学術大会優秀発表賞 受賞者のおしらせ

2024 年度より、日本音楽療法学会学術大会優秀発表賞を創設する運びとなりました。

本賞は、学術大会で発表された演題の中から優れた演題を選考し、表彰するものです。

本年度（2025 年度）筑波で開催された第 25 回日本音楽療法学会学術大会で発表された演題が第 2 回の選考対象となりました。

選考は選考規定に則り、学術・研究委員会が行いました。一次審査で一般演題として採択された演題抄録を評価して、対象演題を選考します。二次審査は学会当日、演者のプレゼンテーションを含めて評価を行います。大会終了後に選考委員会にて審議し、理事会の承認を経て、一般演題 1 題、学生会員による演題 1 題の受賞が決まりました。

第 2 回優秀発表賞の受賞者と発表演題は、以下の通りです。

《一般会員枠》

受賞者	近藤里美（北海道医療大学 リハビリテーション科学部作業療法学科）
発表演題	認知症者の音楽アセスメント尺度（MiDAS）日本語翻訳暫定版作成： 言語的妥当の検討 第 2 報

《学生会員枠》

受賞者	小高天音（東邦音楽大学音楽学部）
発表演題	児童を対象とした対面での音楽療法における ICT 導入の検討—音楽療法士と音楽療法専攻生への実態調査—

受賞者には、賞状と副賞（口演・ポスター 3 万円、学生会員 1 万円）が授与されます。

来年度以降も優秀発表賞の授与は継続して行なってまいります。多くの会員が日々の臨床・研究活動の成果を学術大会で発表し、音楽療法の発展に貢献してゆくような流れができることを期待しております。